

ここから

～個々のカラーを、ここから発信します～



神島田こども園 年長児作品「水の中から大ジャンプ！」

ご挨拶

社会福祉法人永美福社会

理事長 沢田 一郎



皆さま方には、日頃より当法人事業にご理解とご支援をいただきありがとうございます。

季節は「秋」になったとは言うものの、大変暑い「夏」が続いています。今年は近年まれに見る暑さによる熱中症対策が必要になりました。また一方では、線状降水帯による豪雨や竜巻被害も発生しており、台風シーズンの防災対策にも対応していくことが求められるようになってきております。

法人内各施設、事業所においてもご利用者の安全確保は喫緊の課題です。日頃の訓練や備蓄品の確保などに努めてまいりたいと思います。

さて、昨今の全国的な出生数の減少と高齢化の進行による就労人材の不足は、外国の方々にも労働力として依存していかざるを得ないところに来ていると感じています。私たちの福祉事業においても、今後、外国人材にお願いしていくことが当たりまえの方向になっていくかもしれません。極端な外国人排斥の思想ではなく、ともに福祉事業にかかわっていただける工夫を考えていきたいものです。

本年 6 月に法人役員、評議員等の改選があり、別記の方々が選任されました。法人役員の皆さま方とともに、今後とも利用者の方々の人権と尊厳に敬意を払いつつ、支援の向上を目指し活動して行く所存ですので、よろしくご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

施設紹介 Part II

彩雲館

彩雲館では、生活介護事業と地域活動支援センターを運営しています。生活介護事業には、主に知的障害のある方 42 名が通所されています。地域活動支援センターには、主に身体障害のある方が 5 名ほど通所されています。



彩雲館は、法人理念を基に

《その人らしさを大切に、チームとして支援していきます》

という目標を掲げ、個性の尊重と情報共有の徹底を図っています。チーム支援を柱とし、支援体制の強化に努めています。



利用者の方が自分らしく生活できるよう、職員同士が協力し、チームとして支えていくことを大切にしています。そのため、私たちはまず利用者お一人おひとりをよく知ることから支援を始め、日々の関わりの中で多くの笑顔に出会えるよう心がけています。

そして、利用者の方々が **《楽しく、安心して通える場所》** と感じられる施設づくりを目指し彩雲館では、生活介護事業と地域活動支援センターを運営しています。



彩雲館ケアホーム

彩雲館ケアホームは、共同生活援助事業所（グループホーム）として、障がいのある方の『居』としたところの位置づけです。

現在、七彩ホームは7名、いろどりは10名の方がそれぞれ入居されています。グループホームは共同生活の場なので、利用者1人1人がルールを守ってもらうことも、当然大事なことはありますが、利用者の方にとって“素が出せる場所”、“癒される場所”でなければならないと思います。

七彩ホーム、いろどりの建物は違いますが、**《みんなのホーム》** という合言葉で、利用者、保護者、職員の三身一体での連携を図り、最終的には、“居心地のいい場所”、“安心できる空間がある場所”を目指していきます。



神島田こども園

神島田こども園の「すてきみーつけ」

神島田こども園は利用定員 95 名の幼保連携型認定こども園です。「神島田こども園で大切にしたいこと」3つのテーマについて、園長が毎月の園だよりで記事を書いている「すてきみーつけ」風にお知らせします。

「健康」のテーマで、すてきみーつけ！



病児・病後児保育実施園として病児対応をしながら、看護師と保育者が連携して園児の健康・保健・安全に配慮した生活環境を整えるようにしています。

「子どもが主人公」のテーマで、すてきみーつけ！

3歳未満児は、小グループの生活と遊びの中で、一人ひとりの成長と発達を見守っています。3歳以上児は、異年齢の生活と活動の中で、子ども同士の学びあいと一人ひとりの選択や自主性を尊重しています。



「実体験と想像の世界の協同」のテーマで、すてきみーつけ！



栽培・飼育等の実体験と、絵本を通しての想像の世界を繋がりのあるテーマとして、活動が豊かに展開するよう心がけています。

収穫した野菜は、調理員と保育者の連携のもとに食育活動に生かしています。



家庭・こども園・地域の繋がりの中で子どもの育ちを大切にしていきます。入園式又は卒園式の頃子どもたちの成長を桜が見守ってくれています。神島田こども園ですてきみーつけしませんか？



かるがも園

令和7年4月1日より、放課後等デイサービス事業始めました。

かるがも園は今までの児童発達支援事業（親子通園）未就学児対象に加えて『途切れのない支援』を行うために就学後（学齢期6歳～18歳まで）のお子様を対象とした放課後等デイサービス事業を開始いたしました。

＜支援方針＞

就学後のお子様が人との関係で安心を築き、生活体験を豊かにできるよう支援します。家族の方と共にその子に合った丁寧な子育てをしながら子育て応援団としてお子様の成長と一緒に地域で見守っていきます。

現在、2名の小学生のお子様と職員が学校終了後と長期休暇に活動をしています。今後もその子らしさを大切に発達支援・家族支援・移行支援・地域支援をおこなっていきます。





今回のテーマは食べるに関する

ほほほ

ほんわか、ほっこり、ほほえましい、
そんな場面をお届けします！

自分でつくる
おにぎり
おいしいね！



神島田こども園

スイカ割り
ちょっと
フライングしちゃった



かるがも園

みかんゼリー食べて
おいしいポーズ！



唐臼こども園

夕飯の準備に
誘われて準備の様子を
眺めています！



彩雲館ケアホーム

今月のケーキは
好きなイ・チ・ゴ♪



しらさぎ福祉園

サイゼリヤに来ました。
これを食す！



しらさぎケアホーム

館内にある
藤を見ながら
みんなで
焼きそばなどを
食べました！



彩雲館

ながみ 永美福祉会 職員インタビュー

しらさぎ福祉園



障がいのある方が日中の時間を支援員と共に過ごす活動の場です。パンの製造・販売や下請けといった作業を通して、働く喜びや社会とのつながりを育みます。また、多彩な療育活動やレクリエーションも行い、一人ひとりの人生がより豊かになるよう支援します。



Q1 この仕事に就くきっかけは？

高校2年生の時に学校で、福祉施設の職員と利用者の方との交流の機会があり、その中で感銘を受けたのがきっかけです。実はそれが「しらさぎ福祉園」の方々でした。話を聞く直前まで、将来は音楽の道に進みたいな・・・となんとも思っていたのですが、あの日職員の方の話に不思議な程に吸い込まれ、「なんてやりがいのある仕事なのだろう」「かっこいい！」「と10代ながらに思いました。その日に「私、福祉の大学に行きます！」と担任の先生に言ったのを覚えています。

Q2 やりがいを感じる時は？

利用者さんの「不安」「や」「戸惑い」「を取り除けた時です。作業が始まってからもなかなか休憩時間の気持ちを切り替える事ができない利用者さん。何度も「作業の時間ですよ」と伝えても利用者さんの機嫌は悪くなるばかり。その方に絵カードを使ってみると、スッと作業に入ることができた、ということがありました。その時に利用者さんの「この人は何を言っているのだろう」「という」不安「を取り除けた気がしました。また、支援を通じて得られるやりがいは「人と人との繋がり」です。言葉や行動にストレートな反応を返してくれる利用者さんとの関わりは、嘘やごまかしのない純粋なものです。時には笑顔で迎えてくれる、何度も名前を呼んでくれる、「ありがとう」と心からの言葉を伝えてくれる。その一言がとても温かく、自然と笑みがこぼれ、毎日のやりがいへと繋がっています。

Q3 支援で大切にしている思いは？

利用者さんの気持ちに寄り添い、安心できる関係性を築くことです。利用者さんの中には、自分の思いを上手に言葉にできない方や、他者との関係を築くことが苦手な方もいます。だからこそ相手の表情や仕草の変化を観察して「今何を感じているのか。」「何に戸惑っているのか。」「何に納得できていないのか。」を考えながら支えていけるように心がけています。また、表面だけで判断しないことも大切にしています。利用者さんの行動には理由があり、行動の背景にある感情に目を向けるようにしています。

生活支援員
5年目
I・Rさん

スタッフの一日

8:30 出勤
9:00 登園受け入れ
送迎
10:00 作業支援スタート
12:00 給食・昼休憩
13:00 療育支援スタート
16:00 降園送り出し
送迎・事務作業
17:30 退勤



しらさぎケアホーム



障がいのある方の「暮らし」を支える生活の場です。私たちが最も大切にしているのは、そこが利用者の方にとって「安心できる場所」「安全な場所」「自由な場所」であること。日々の暮らしに温かく寄り添い、サポートすることで、一人ひとりが自分らしい「幸せ」を実現していく。そんな、心安らぐ暮らしの拠点となることを目指しています。

Q1 この仕事に就くきっかけは？

高校生の時にJRC（青少年赤十字）部に入り福祉に触れる機会があり、福祉系の大学へ進学しました。大学では障がい児の事業所で何度もボランティア活動をし、その時の経験が楽しく、障がい分野に就職したいなと思えました。資格取得の為に施設実習をしらさぎ福祉園で行ったことがきっかけでグループホームにてアルバイトをするようになり、この仕事に魅力を感じて就職しました。

Q2 やりがいを感じる時は？

利用者さんが日中のお仕事から帰ってきて楽しかった事や嫌だった事などを話してくれたり、リラックスして寛いでいる姿や楽しそうに遊んでいる姿を見たりすると安心します。苦手な事やトラブルになってしまう事も支援によって解決できたり、良い方向に向かったりして笑顔が増えたとやりがいを感じます。

Q3 支援で大切にしている思いは？

楽しく安心してすごせるホームにしたいと考えています。そのために利用者さんのペースに合わせた支援を心がけています。また、心や体調の変化に気づけるように普段の利用者さんの特性や状態をよりたくさん知る事を大切にしています。笑顔を引き出せるような関わり方をしていきたいです。

生活支援員
13年目
H・Nさん

スタッフの一日

7:00 出勤
朝の身支度介助
送り出し
9:00 退勤
16:00 出勤
帰宅入居者受け入れ
余暇支援
食事提供・介助
入浴・歯磨き介助
翌日身支度準備
就寝準備
22:00 退勤



法人からのご案内



最新の情報は
ホームページへ
こちらの
QRコードから



ご寄附ありがとうございました

合資会社本多商店 有限会社サイマツ

伊藤善則 垣見真理子 宮崎昌子 栗田節子 戸谷貞子 三輪晃敬 山口隆弘 山田幸成 山本昇 太田曹正
祖父江知美 猪飼憲子 渡辺泰治 土谷有久 那須ひろ子 武藤美保子 竹田果織 服部映次 鈴木義隆
服部美智子 小栗拓朗 吉田拓史 加藤あい 玉崎邦夫

令和7年2月1日から令和7年8月31日までの受付分 誌面掲載同意を頂いた方のみ掲載しております。(順不同 敬称略)

法人新役員のご紹介

法人役員

理事長 沢田 一郎

理事 松永 信行

理事 上赤 正文

(理事・監事) 理事 山田 英治

理事 吉田 一江

理事(新) 宇治谷祐司

監事 田中 和夫

監事 肥田 正

法人評議員

評議員 森 文雄

評議員 山本 智志江

評議員 山田 久孝

評議員 位田 泰一

評議員 石原 千香子

評議員 松永 久美

評議員 河野 美貴

法人苦情解決第三者委員

服部 映次

田中 和夫

また、今回退任された理事 石原民敏 様にはこれまで長きにわたり法人役員としてご尽力いただきました。感謝申し上げます。

永美福社会 事業所紹介

唐臼こども園

★所在地 〒496-0026
津島市唐臼町郷裏55
★電話 : 0567-32-2126
★FAX : 0567-32-2328

神島田こども園

★所在地 〒496-0025
津島市中一色町東郷4
★電話 : 0567-31-0672
★FAX : 0567-31-1805

かるがも園

★所在地 〒496-0045
津島市東柳原町3-69
★電話 : 0567-27-3915
★FAX : 0567-27-3916

法人事務局

★所在地 〒496-0004
津島市蛭間町弁日176
★電話 : 0567-58-1490

しらさぎ福祉園

★所在地 〒496-0004
津島市蛭間町弁日177
★電話 : 0567-25-8226
★FAX : 0567-27-4080

しらさぎ 相談支援事業所

★所在地 〒496-0004
津島市蛭間町弁日176
★電話 : 0567-25-8290

彩雲館

★所在地 〒496-0863
津島市上之町1-54-2
★電話 : 0567-24-7111
★FAX : 0567-28-5551

しらさぎケアホーム

しらさぎホーム しらさぎの家

しらさぎ第2ホーム

しらさぎハイム ホームV6

彩雲館ケアホーム

七彩ホーム いろいろ

編集後記 「まち」の一員として生きていく

各施設それぞれ事業所内の活動にも取り組みながら、折に触れて
「私たちここにいますよー！」という発信を続けています。

秋のイベントも自分たちを知っていただくいい機会。

ぜひのぞいてみてください♪無理なく、自分たちらしく、準備しています。

イベントチェックはホームページからどうぞ！

～『ここから』を通して、皆さまとのこれからを～

広報委員会 一同

発行

社会福祉法人永美福社会 広報委員会